学校番号	3018

令和２年度　　芸術　　科

教科	芸術	科目	美術Ⅱ	単位数	（1）単位	年次	（2）年次
使用教科書	高校生の美術２（日本文教出版）						
副教材等	―						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・自然、自己、社会などを深く見つめ個性豊かな表現を追求する「絵画・彫刻」「デザイン」「映像メディア表現」と、発想や構想の独自性、表現の工夫などについて多様な視点から分析を試みる「鑑賞」の分野について学習します。
・表現したいこと、表現の目的に合った表現形式を選択し、創造的で心豊かな表現を目指しましょう。違った見方を「鑑賞」で共有すると、また更に広がったり深まったりします。

2　学習の到達目標

美術の創造的な諸活動を通して、美的体験を豊かにし、生涯にわたり美術を愛好する心情を育てるとともに、感性を高め、個性豊かな表現と鑑賞の能力を伸ばし、美術文化についての理解を深める。

3　学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:美術への関心・意欲・態度	b:発想や構想の能力	c:創造的な技能	d:鑑賞の能力
観点の趣旨	美術の創造活動の喜びを味わい、多様な表現方法や美術文化に関心を持ち、主体的で個性豊かな表現や鑑賞の創造活動に取り組もうとする。	感性や想像力を働かせて、自然、自己、社会などを深く見つめて主題を生成し、創造的で心豊かな表現の構想を練っている。	主題にあった表現方法を工夫し、創造的に表現している。	発想や構想の独自性、表現の工夫などについて多様な視点から分析し、作品や作者の個性への理解を深めている。
評価方法	制作の様子 ワークシート 鑑賞活動やグループワークの様子	ワークシート アイデアスケッチ 制作途中の作品 作品 ノート	制作途中の作品 作品	ワークシート 発言内容 ノート

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。

学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点				単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
前期中間	人物画模写	【絵画・彫刻】【鑑賞】 ・オリエンテーション 美術Ⅰの内容を振り返り、美術Ⅱで扱う題材について理解する。 ・キャンバス制作 木枠を組み生地を張りキャンバスを作る。 人物画作品を一つ選び、模写する。 作品を観察し正確なタッチと色作りに	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	a:模写の意義について考え、モチーフを観察する力、デッサン力の向上を目指している。 b:鉛筆の線の表現や絵具の色の変化など、作品が描かれた状況を想像し再現しようとしている。 c:道具の適切な扱いができ、表現できている。 d:発想や構想の独自性、表現の工夫を自らの言葉で説明できている。	スケッチ 制作の様子 制作途中の作品 鑑賞活動の様子や発言内容 作品
	石こうを扱う	【絵画・彫刻】【デザイン】【鑑賞】 ・石こうについて知る 素材の特性と特徴を理解し表現する。 ・アイデアスケッチ ・制作	○	○ ○	○	○	a:色んな年代の作品に触れ、石こう制作に興味を持っている。 b:石でできた様々な作品からインスピレーションと想像を膨らまして、テーマを決めている。 c:道具の適切な扱いができ、意図した形になるように工夫している。 d:発想や構想の独自性、表現の工夫を自らの言葉で説明できている。	アイデアスケッチ 制作の様子 制作途中の作品 鑑賞活動の様子や発言内容 作品
前期期末	ジオラマ制作	【絵画・彫刻】【鑑賞】 ・空間デザインについて考える。 ・主題を基に構想を練る。 ・構想を基に自分の表現意図に合う表現方法を工夫する。 ・主題を追及し、表現を深める。 ・他者の作品から、作者の主題、意図、創造的な表現の工夫などを感じ取り、理解する。	○ ○	○ ○ ○ ○	○ ○	○	a:デザインの目的や条件、機能や用途などを考えて表現することに関心をもち、表現や鑑賞の活動に主体的に取り組もうとしている。 b:デザインの目的、機能、美しさなどから主題を生成し、描画材や表現形式の特性、形や色彩などの働きを考えて表現の構想を練っている。 c:目的や意図に応じて素材や道具の特性を生かし、表現方法を工夫して、目的や計画を基に表現している。 d:作者の意図や表現の工夫、よさや美しさなどを感じ取り、生活や社会を心豊かにする美術の働きや作品などについて理解を深めている。	アイデアスケッチ 制作の様子 制作途中の作品 鑑賞活動の様子や発言内容 作品

※　表中の観点について　　a:美術への関心・意欲・態度　b:発想や構想の能力

c:創造的な技能　d:鑑賞の能力

※　年間指導計画（例）作成上の留意点

・原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において特に重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について〇を付けている。